

年間指導計画 巻頭・書写ブック

学年	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
適宜	書く道具が生まれる (教科書 巻頭, P29) ◎筆・紙・硯・墨・鉛筆の作り方を理解し、書写学習や文字文化への関心を高めることができる。	適宜	1 教科書巻頭の写真を見て、筆・紙・硯・墨・鉛筆の伝統的な作り方を知る。 2 理解したことや感じたことを友達と交流し、書写学習や文字文化への関心を高める。	【知】筆・紙・硯・墨・鉛筆の作り方を理解している。 【態】進んで(①)筆・紙・硯・墨・鉛筆の材料や作り方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)、理解したことや感じたことを交流しようとしている(④)。
	さあ、書こう。 (教科書 P30-31) ◎中学校で学習する内容を知り、中学校3年間の学習の見通しをもつことができる。		1 小学校で学習した漢字の書き方を「楷書」といい、中学校では新たに「行書」という書き方を学ぶことを知る。 2 「三年間の目標」に書かれた内容を理解し、中学校3年間の見通しをもつ。 3 教科書 P31 の目次を見て、3年間の学習内容を確かめる。	【知】中学校で学習する内容を理解し、中学校3年間の学習の見通しをもっている。 【態】積極的に(①)中学校で学習する内容を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)理解したことについて確かめ合おうとしている(④)。
	学習のはじめに(姿勢・筆記具の持ち方) (教科書 P32-33) ◎書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくするとともに、用具の扱い方を理解することができる。		1 書くときの姿勢や筆記具の持ち方を確かめる。 2 用具の扱い方(準備・片付け)を確かめる。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】書くときの姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、用具の扱い方を理解している。 【思】(正しい姿勢・筆記具の持ち方、用具の扱い方を確かめている。) 【態】積極的に(①)書くときの正しい姿勢・筆記具の持ち方や用具の扱い方を確かめ(③)、学習の見通しをもって(②)姿勢・筆記具の持ち方や用具の扱い方を正しくしようとしている(④)。
	学習のはじめに(字形の整え方) (教科書 P34-35) ◎字形の整え方、文字の大きさ、配列などについて理解することができる。		1 漢字の字形を整えて書くためのポイント(点画の種類と筆使い／点画のつながり／外形と中心／筆順／点画の組み立て方／部分の組み立て方)を確かめる。 2 読みやすく書くためのポイント(文字の大きさ／用紙に合った文字の大きさと配列／書くときの速さ／筆記具の選択)を確かめる。	【知】字形の整え方、文字の大きさ、配列などについて理解している。 【思】(字形の整え方や文字の大きさ、配列のしかたを確かめている。) 【態】進んで(①)字形の整え方や文字の大きさ、配列のしかたを理解し(③)、小学校での学習を生かしながら(②)理解したことを確かめ合おうとしている(④)。
	学習の進め方 (教科書 P36) ◎学習の進め方を理解することができる。		1 P36 を見て、学習の進め方を理解する。 2 1について理解したことなどを話し合い、共有する。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】学習の進め方を理解している。 【思】(学習の進め方を確かめている。) 【態】積極的に(①)学習の進め方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)理解したことを話し合おうとしている(④)。
書写ブック				
1年	漢字の筆使い (教科書 P3) ◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]	硬筆 3	1 教科書 P40-43 で学習したことを生かして、漢字を構成する点画の筆使いを確かめながら、硬筆で漢字を書く。 2 速く書くときの「許容される書き方」を理解する。	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書いている。 【思】(硬筆で漢字を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。) 【態】進んで(①)漢字の筆使いに注意し(③)、学習課題に沿って(②)楷書で書こうとしている(④)。
	外形と中心/筆順 (教科書 P4-5) ◎字形の整え方(外形と中心/筆順)を理解して、楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]		1 教科書 P34-35 で学習したことを生かして、文字の外形や中心に気をつけながら、硬筆で P4 の漢字を書く。 2 教科書 P34-35 で学習したことを生かして、筆順に気をつけながら、硬筆で P5 の漢字を書く。	【知】字形の整え方(外形と中心/筆順)を理解して、楷書で書いている。 【思】(硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方<外形と中心/筆順>を確かめている。) 【態】進んで(①)字形の整え方(外形と中心/筆順)を確かめ(③)、小学校での学習を生かしながら(②)楷書で書こうとしている(④)。

学年	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	点画の組み立て方/部分の組み立て方 (教科書 P6-7) ◎字形の整え方 (点画の組み立て方/部分の組み立て方)を理解して、楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ]		1 教科書 P34-35 で学習したことを生かして、点画の組み立て方を意識しながら、硬筆で P6 の漢字を書く。 2 教科書 P34-35 で学習したことを生かして、部分の組み立て方を意識しながら、硬筆で P7 の漢字を書く。	【知】 字形の整え方 (点画の組み立て方/部分の組み立て方)を理解して、楷書で書いている。 【思】 (硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方<点画の組み立て方/部分の組み立て方>を確かめている。) 【態】 進んで①字形の整え方 (点画の組み立て方/部分の組み立て方)を確かめ③、小学校での学習を生かしながら②楷書で書こうとしている④。
	名文を書いてみよう1 (教科書 P8-9) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア, エ(ア), (1)イ]		1 「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと (楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列) に注意して、楷書とそれに調和した仮名で名文を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 (「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】 積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を書こうとしている④。
	点画の変化 (P10-11) ◎漢字の行書の基礎的な書き方 (点画の変化)を理解して身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]	硬筆 1	1 教科書 P58-63 で学習したこと (点画の変化)を振り返る。 2 点画の変化の仕方を確かめ、点画の変化についての学びを生活に生かすという意識をもって、硬筆で漢字や語句を書く。	【知】 漢字の行書の基礎的な書き方 (点画の変化)を理解して身近な文字を書いている。 【思】 (硬筆で漢字や語句を書くなかで、行書の基礎的な書き方<点画の変化>を確かめている。 【態】 進んで①行書の書き方 (点画の変化)を理解し③、学習課題に沿って②漢字や語句を書こうとしている④。
2年	点画の省略 (P12-13) ◎漢字の行書の書き方 (点画の省略)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア), (1)ウ]	硬筆 3	1 教科書 P66-69 で学習したこと (点画の省略)を振り返る。 2 点画の省略の仕方を確かめ、点画の省略についての学びを生活に生かすという意識をもって、硬筆で漢字や四字熟語を書く。	【知】 漢字の行書の書き方 (点画の省略)を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】 (硬筆で漢字や四字熟語を書くなかで、行書の書き方<点画の省略>を確かめている。) 【態】 進んで①行書の書き方 (点画の省略)を理解し③、学習課題に沿って②漢字や四字熟語を書こうとしている④。
	筆順の変化 (P14-15) ◎漢字の行書の書き方 (筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ア, ウ(ア), (1)ウ]		1 教科書 P70-73 で学習したこと (筆順の変化)を振り返る。 2 筆順の変化の仕方を確かめ、筆順の変化についての学びを生活に生かすという意識をもって、硬筆で漢字や和歌を書く。	【知】 漢字の行書の書き方 (筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】 (硬筆で漢字や和歌を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。) 【態】 進んで①行書の書き方 (筆順の変化)を理解し③、学習課題に沿って②漢字や和歌を書こうとしている④。
	部分別に練習しよう (教科書 P16-17) ◎漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア), (1)ウ]		1 教科書 P142-143 で学習したこと (行書の部分の書き方)を振り返る。 2 行書の部分の書き方を確かめ、部分の書き方の学びをその部分をもつ他の文字に生かすという意識をもって、硬筆で同じ部分をもつ漢字を書く。	【知】 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】 (硬筆で行書を書くなかで、行書の部分の書き方を確かめている。) 【態】 積極的に①行書の部分の書き方を理解して③、今までの学習を生かしながら②書こうとしている④。

学年	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	名文を書いてみよう2 (教科書 P18-19) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア, ウ(ア), (1)ウ]		1 「いろは歌」「走れメロス」「扇の的」を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書とそれに調和する仮名/文字の大きさと配列)に注意して、行書とそれに調和した仮名で名文を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 (「いろは歌」「走れメロス」「扇の的」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「いろは歌」「走れメロス」「扇の的」を書こうとしている(④)。
3年	書写テストに挑戦しよう (教科書 P20-21) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)ア]	硬筆 1	1 教科書 P100-101「三年間のまとめ」を一覧し、3年間で学習したことを振り返る。 2 設問①～⑨に取り組む。 3 それぞれの設問と関係のあるページを「三年間のまとめ」から探し、自分の解答を見直す。 4 教科書 P21 の解答を確かめ、点画の連続や変化など、設問に関連のある知識を確認し、定着させる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 (書写テストに挑戦するなかで、3年間で学習した知識・技能を確かめている。) 【態】 積極的に(①)3年間で習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書写テストに挑戦しようとしている(④)。
	名文を書いてみよう3 (教科書 P22-23) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア, エ(ア), (1)ア]		1 「おくのほそ道」「雪国」「銀の滴降る降るまわりに」を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書とそれに調和した仮名/文字の大きさと配列)に注意して、行書とそれに調和した仮名で名文を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 (「おくのほそ道」「雪国」「銀の滴降る降るまわりに」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「おくのほそ道」「雪国」「銀の滴降る降るまわりに」を書こうとしている(④)。
1～3年	都道府県名を練習しよう (教科書 P24-25) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[1年/知技(3)エ(イ), (1)イ][2年/知技(3)ウ(ア), (1)ウ][3年/知技(3)エ(ア), (1)ア]	適宜	1 教科書 P115「都道府県行書一覧」で学習したことを振り返る。 2 都道府県名の行書での書き方を確かめながら、硬筆で都道府県名を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。 【思】 (都道府県名を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)都道府県名を書こうとしている(④)。
2～3年	年賀状を書こう (教科書 P26-27) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[2年/知技(3)ウ(ア), (1)ウ][3年/知技(3)エ(ア), (1)ア]	適宜	1 教科書 P114「はがきの書き方」で、はがきの表の書き方を確かめる。 2 はがきの表や、年賀状でよく使われる言葉をフェルトペンや小筆でなぞる。 3 友達やお世話になっている人に年賀状を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 (年賀状を書くなかで、書写で学んだ知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】 積極的に(①)書写で学んだ知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)年賀状を書こうとしている(④)。